

2023年度 共立女子大学 公募制推薦・卒業生子女推薦入学者選抜 試験問題

試験種類 (E)ちらかに○をつけてください	科目	学部	学科	専攻・コース
公募制・卒業生子女	小論文	看護学部	看護学科	—
受験番号	氏 名			
採 点				

I 次の文章を読み設問に答えなさい

ケアとは生きることを肯定する①営みだ。たとえ大きな苦痛や逆境の果てに、定めとしての死に至るプロセスであったとしても、生を肯定する。「では、どうやって？」それを考えていくことが、本書全体を貫く主題である。

まずはケアのゴールから考えたい。それはおそらく、患者や苦境の当事者が自分の力を②発揮しながら生き抜き、自らを表現し、自らの願いに沿って行為することであろう。これは一見奇妙な回答に見えるかもしれない。ケアというのは、苦しんでいる人の苦痛を③アカンワしたり、生活に困難を抱えた人の身の回りの世話をすることだというのが一般的な捉え方だからだ。

しかし「ゴール」という意味でいえば、当事者が自身の〈からだ〉の感覚を再発見し、自らの願いを保てる、そのような力の発揮を目指すところこそがケアのゴールだということを、私は援助職の方々から教わってきた。もちろん、ケアの当事者は自分が持つ力を独りで発揮することはできない。誰かとつながったときに、孤立した状況下で④イシユクしていた本来の力を発揮することができるようになる。それゆえ、つながることについての議論から本書は始まることになる。

看護の理論家であるジョイス・トラベルビーは、次のように書き残している（トラベルビー『人間対人間の看護』一二二―一二三項）。

病むことは、孤独であるということであり、自分の孤独の中核にあるものを和らげられないこと、あるいは、ほかの人に伝えることさえできないことである。

この定義に沿っているなら、ケアは病む人と共にある営みであって、治すことを試みることでは必ずしもない。むしろコミュニケーションを絶やさない努力だ。治療がもはや⑤ウコウリヨクを持たなくなった場面においても、ケアのコミュニケーションは続く。

意識が薄れている人、身体が動かない人もまた何かを伝えようとする。指のかすかな動きかもしれないし、③瞬きかもしれないが、キャッチする人がいればそれはサインとなり、キャッチすること自体がケアとなる。あるいは暴言や暴力や何らかの精神症状という形で自らの苦境を表現する人もいる。しかし、そのような表現は、それを「SOS」として聴き取る人の耳にとってのみサインとなり、聴き取ることそのものがケアとなる。

当事者のサインがなんとか受け止められ、⑥エシコウサクゴのなかで対応されたとき、ケアが始まる。言うまでもなく、このようなケアが始まるための前提条件として、苦痛や苦境のなかにある当事者とコンタクトを取ろうとするケアラーの側の努力がある。

そばに立ち会い、つながりをつくること。そして④真摯に当事者の声を聴こうとすることによって、初めて支えることが可能になる。これは当たり前のことのように思えるかもしれない。しかし、日常的には気に留めるこ

2023年度 共立女子大学 公募制推薦・卒業生子女推薦入学者選抜 試験問題

試験種類 (E)ちからに○をつけてください		科目	専攻・コース	
公募制・卒業生子女		小論文	看護学部	看護学科
受験番号		氏 名		
採 点				

ともなく成立しているコミュニケーションが、支援の現場ではとたんに難しいものとなる。それゆえ、困難を乗り越え、つながるための強い意志と技術がケアの現場を支える。

コミュニケーションを絶やさない努力が重要になるもうひとつの理由は、患者や当事者を周りの人となぎなおすことが、しばしばケアの出发点ともなるからである。たとえば家族の問題がそうだ。患者と家族のあいだに深刻な④キレツが入ることは少なくない。あるいはもともと家族関係が悪いなかで病に倒れたとき、家族のキレツが際立つこともある。それゆえ、看取りのケアが「家族の関係を修復する」という形で⑤成就する場面も見聞きする。

病や逆境は二重の孤独をもたらす。単に人との関わりが絶たれるだけでなく、その孤独を表明することすらできなくなるといふ切断である。援助職は、そのような困難にある人とながろうとする努力をする人でもある。

出典…村上靖彦、「ケアとは何か 看護・福祉で大事なこと」、一頁〜四頁、中公新書、二〇二二年度

問一 ①から⑤までの漢字の読み仮名を書きなさい。

① 営み	② 発揮	③ 瞬き	④ 真摯	⑤ 成就

問二 ②から④までのカタカナを漢字にしなさい。

② カンワ	③ イシユク	④ コウリヨク	⑤ シコウサクゴ	⑥ キレツ

問三 ケアの目的について、筆者はどのように述べているか。一〇〇字以内で要約しなさい。

2023年度 共立女子大学 公募制推薦・卒業生子女推薦入学者選抜試験問題

試験種類 (どちらかに○をつけてください)	公募制・卒業生子女	科目	学部	学科	専攻・コース
	小論文				
受験番号	氏名	看護学部	看護学科	—	採点

問四 文章を読んだ上で、ケアにおけるコミュニケーションについて、あなたの考えを六〇〇字以内で述べなさい。

A full-page sheet of white graph paper featuring a uniform grid of thin black horizontal and vertical lines. The grid covers the entire area of the page, leaving no margins or additional markings.

試験種類 (どちらかに○をつけてください)	科 目	学 部	学 科	専攻・コース
公募制・卒業生子女	小論文	看護学部	看護学科	—
受験番号	氏 名			採 点

Ⅱ 問1～問3について、設問を読み、式と答えの両方を書きなさい。

問1 クラスで英語のテストを行い、男子生徒24人の平均点は53点、女子生徒16人の平均点は58点でした。
クラス全体の平均点は何点ですか。

(式)

答え	点
----	---

問2 ある濃度の食塩水300 g に13%の食塩水200 g を加えたところ、濃度が8.8%になりました。
最初の食塩水の濃度は何パーセントですか。

(式)

答え	%
----	---

問3 下の表は、図書館のある日の時間別、年齢別の利用状況を表したものである。年齢別の人数比は、18歳未満の利用者に対して18歳以上60歳未満の利用者が1.4倍、60歳以上の利用者が1.6倍である。

	開館～正午	正午～15時	15時～18時	18時～閉館	全体
18歳未満	10%	35%	30%	25%	100%
18歳～60歳未満	15%	20%	30%	35%	100%
60歳以上	45%	25%	20%	10%	100%

正午～15時の18歳未満の利用者の人数は70人でした。
15時～18時までの18歳～60歳未満の利用者の人数は何人ですか。

(式)

答え	人
----	---